

静岡県地域外交基本方針（令和4年4月改訂）の概要

背景

静岡県は、「友好的互惠・互助に基づく善隣外交」を基本理念とし、海外との揺るぎない信頼関係を築くことが本県の存在感を高め、ひいては、国家間の平和構築に寄与するという考えの下、「地域外交」を展開しています。

世界に名高い霊峰富士を擁する本県が、国際平和の構築に貢献し、これまで構築した関係を重層的につなげ、人と人の相互理解を深める地域外交を着実に展開するため、地域外交基本方針を定めています。

基本理念

人をつくり 富をつくり 平和を築く 富国有徳の“ふじのくに”

～友好的互惠・互助に基づく善隣外交～

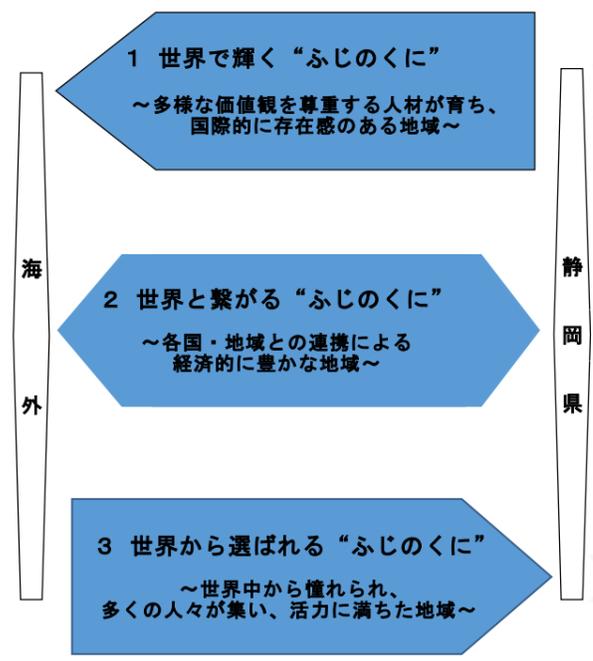
数値目標

静岡県の新ビジョン「富国有徳の美しい“ふじのくに”の人づくり・富づくり」後期アクションプランから、地域外交に関する項目を抜粋し、数値目標を設定しています。

- <世界で輝く“ふじのくに”>
 - ・JICA海外協力隊への派遣者数、海外向け研修事業実施回数 等
- <世界と繋がる“ふじのくに”>
 - ・重点国・地域出身の外国人宿泊者数、県内本社企業の新規海外展開事業所数 等
 - <世界から選ばれる“ふじのくに”>
 - ・専門的・技術的分野の在留資格を有する外国人労働者の本県人口10,000人当たりの人数、外国人留学生数 等

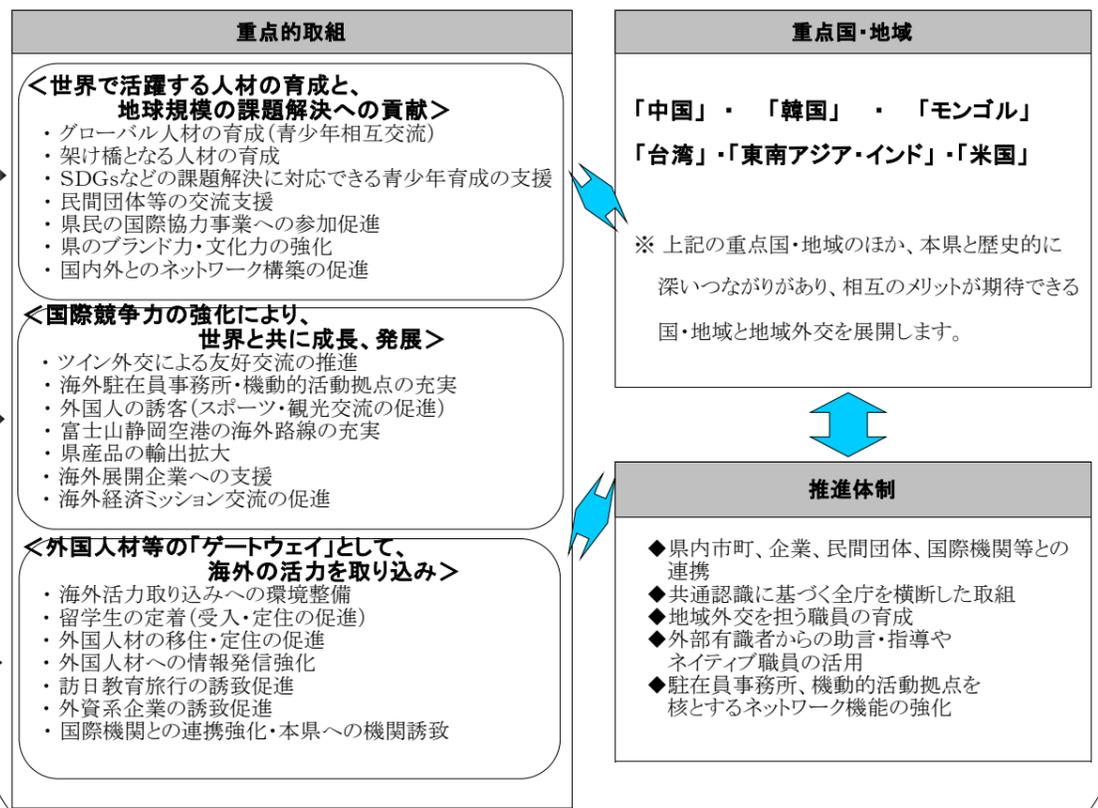
地域外交の目指す姿

「1 静岡から海外へ」、「2 双方向」、「3 海外から静岡へ」の3つのベクトルから地域外交を展開します。



戦略展開

「地域外交」のミッション
本県が持つ場の力（一国並のGDP、世界クラスの資源群）を最大限活用し、海外の国・地域との交流の強化を図り、価値を共有することで相互に尊重する気風の醸成や新たな可能性を創出し、「ふじのくに」の発展を目指す



重点国・地域別の取組

重点国・地域	中期的視点による重点的取組
中国	長年にわたる浙江省との友好関係を軸とする多様な交流の展開 ・食、医療、健康長寿、スポーツ、青少年など多分野での交流 等
韓国	民間主体の交流拡大と定期利用の促進及び県産品の輸出拡大 ・忠清南道などとの交流促進、定期便を活用した交流 等
モンゴル	幅広い分野での人材交流の推進と活力取込の促進 ・ドルノゴビ県やモンゴル国政府との交流促進、交流の架け橋となる人材の育成 等
台湾	観光誘客及び民間交流の拡大と県産品の輸出拡大 ・民間を主体とする交流人口の拡大、防災協力を通じた互惠・互助の交流促進 等
東南アジア・インド	企業活動の支援や県産品の輸出拡大による経済交流の促進と活力の取り込み <東南アジア>インドネシア西ジャワ州との人材育成や経済分野での協力 等 <インド>IT企業と地域間の交流支援 等
米国	学術・文化交流、通商の促進と地域レベルの連携強化 ・大学間交流などの学術分野や産業分野における関係の拡大 等

基本方針の位置づけ

静岡県地域外交基本方針は、静岡県の新ビジョン「富国有徳の美しい“ふじのくに”の人づくり・富づくり」の分野別計画として位置付け、同ビジョンの基本計画の期間に合わせ、2025(令和7)年度を目途に本県の目指す姿を見据え、具体的な施策展開の方針を示すものです。

多文化共生との一体的推進

地域外交の展開に当たっては、「ふじのくに多文化共生推進基本計画」に基づく多文化共生施策と一体的に推進します。

